

鶏肉情勢

平成30年12月5日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
1. 国内	<p>(1) 生産・処理動向調査(一社)日本食鳥協会11月下旬実施)によると、10月の推計実績は、処理羽数60,880千羽(前年同月比103.2%)・処理重量180.0千ト(同101.7%)となった。前年同月と比較すると、特に関東以北の処理羽数・重量が3.4~5.4%上回っており、全国的に気温が高く温暖で降水量も少なかったことや、商品化率の向上(廃棄率が前年比0.30%減)等が要因と考えられる。</p> <p>(2) H30年11月-H31年1月で、11月は処理羽数(前年比101.8%)・重量(同100.1%)ともに前年を上回る計画であるが、出荷前の増体の伸びが鈍っていると生産者の声もあるなど、前月時点より下方修正(0.4%減・0.7%減)された。12月についても処理羽数(同100.3%)は前年並も重量(同98.3%)が増体の伸びに不安要素があるためか前年を下回ると計画された。地区別では北海道・東北地区は前年比を維持(同100.2%)するものの北部・南九州地区が同97.8%・同97.2%と計画されており、主要産地だけに在庫はあるというものの年末商戦への影響が懸念されるところである。尚H31年1月については、処理羽数は同101.3%と上回り、重量も同99.9%とほぼ前年並みと計画された。</p>
2. 輸入	<p>(1) 財務省11月29日発表の貿易統計によると10月の鶏肉(原料肉)輸入量は54.4千トと、前年比(94.1%)で下回ったものの今年最多となり、1-10月累計で470.2千ト(前年比100.9%)となった。国別では、累計でブラジルが335.5千ト(前年比98.2%・丸鶏含む)と若干下回っている反面、タイが118.6千ト(同114.7%)と大幅に上回った。輸出入協会では11月47.8千ト(同83.8%)・12月46.9千ト(同100.9%)と予測しており、「ブラジル産は現地価格が下落基調にあったが11月に入って下げ止まった感があり、今後反転する可能性もある。タイ産の価格もブラジル産価格に引張られ低迷」とコメントしている。ただ、直近では国内在庫はまだ潤沢にあるものの、「冷凍正肉が260円/kgでも採せない」との報告も一方ではある。</p> <p>(2) 鶏肉調整品の10月輸入量は最需要期に向け前月より12.3千ト増の50.5千ト(前年比118.9%)となり、単月では昨年12月の48.0千トを上回り最多記録を更新した。9月の落ち込み(38.2千ト)はあったものの、1-10月の累計でも417.5千ト(同106.5%)と上回っている。なかでも一時減少していた中国からの輸入が前年より1割強上回った。中国では国内向けはもとより輸出向けの工場が増加し、日本からの細かい発注に応えることで数量を伸ばしており、チャイナリスクがあるなか今後もこの傾向は続いていくものと思われる。</p>
1. 家計消費	(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、9月は台風による営業時間短縮等で購入機会の減少等があったものの、前年比で土日が一日多い曜日回もあり、全国一世帯当たりの生鮮肉消費(購入)数量4,001g(前年比101.6%)・金額5,961円(同102.5%)でともに前年を上回った。鶏肉については、むね肉等の需要拡大で数量は1,368g(同101.9%)と前年を上回り、金額でも前月が猛暑による消費減少や単価安もあり前年を下回ったが、再び前年超えとなった。
2. 量販・卸	(1) スーパー3団体によると「10月の畜産部門の売上高はパネル270社全店ベースで売上1,042億円の前年比2.0%減となった。日曜日が1日少ないなかでも焼肉・ステーキ用牛肉を中心に比較的好調となった店舗もみられたが、平年より高い気温に加え、前年野菜の相場安で伸長した鍋物需要が大きく落ち込み鶏肉や豚肉を中心に不調となった。加えて鶏肉・豚肉は相場が下落傾向にあり、単価下落した影響を受けた」と報告された。ただ、惣菜部門については米飯類、唐揚げの動きがよくやや好調との報告もあり、鶏肉調整品の好調な輸入を伺わせる。
3. 業務・加工筋	(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる9月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比96.5%の4.41千ト。うち国内物は同93.9%の3.60千トと下回ったものの輸入物が同109.9%の0.81千トと報告された。輸入物は1-9月累計でも同135.9%と大幅に増加しているものの、全体の18.1%となっている。サラダチキン向け等の需要が堅調であるなか輸入物の比率は着実に伸びているが、国産むね肉価格が比較的低位で安定しているため加工向け数量のアップに期待したい。
1. 30年9月	(1) 推計期末在庫は国産27.8千ト(前年比94.1%・前月差△1.1千ト)、輸入品135.0千ト(同102.3%・同△5.1千ト)と合計で162.8千ト(同100.8%・同△6.2千ト)となった。前年より稼働日が少なくまた増体の悪化等で生産量が1.0千ト減少し、輸入量も10.5千ト減少した。そのため推定出荷量は、国産が0.5千ト増加の125.2千ト、輸入品が4.9千ト減少の45.3千トとなった。
2. 見通し	<p>(1) 10月は国内生産量が前月比で15.5千ト増加、輸入量も約15千ト増加。行楽シーズンも本番となり出回り量も増加するものと思われるが在庫は微増し、引き続き高水準で推移すると考えられる。</p> <p>(2) (独)農畜産業振興機構の需給予測では、11月は前月比で生産量が2.3千ト減少し、輸入量もブラジル中心に4.0千ト減少するもの、出回り量も4.5千ト減少することにより、期末在庫は国産・輸入品合計で2.1千ト増加の168.9千ト。12月は生産量が12千ト増加し、輸入量がブラジル中心に0.9千ト減少し、出回り量が12.8千ト増加することにより、在庫は0.4千ト増加の169.3千ト(前年比101.1%)とされている。暖冬との予測のなか鍋物需要等で国産・輸入品問わず鶏肉需要拡大に期待したい。</p>
1. 11月動向	(1) 11月の平均相場は、もも肉588円/kg(前月比18円上げ)・むね肉274円/kg(同4円上げ)、正肉合計で862円/kgと前月比22円上げも、前年比では62円の下げとなった。一時的な寒さもあったが比較的暖かい日が多かったためか、もも肉は後半596円を記録するも軟調に終わった。むね肉は、サラダチキン・鶏チャーシュー等の需要で堅調に推移しており月初270円・月末276円と保合い圏内となった。
2. 12月見通	(1) 日に日に気温の低下が見られ冬らしくなりつつあるも、全般的には温暖な日が多く鍋物需要の盛り上がり欠けるが、もも肉は月後半すなわち年末への期待をこめて月平均630円、むね肉は引き続き量販店等での動きが良いことや、冷凍での引き合いもでてきたため月平均275円の保合いと予測する。

実績											
生産状況											
単位:千羽、千トン、%											
	H30年10月推計実績		H30年累計		H30年11月計画		H30年12月計画		H31年1月計画		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
入雛羽数	68,959	104.2%	614,764	101.7%	60,266	100.2%	64,915	100.0%	64,022	101.8%	
処理羽数	60,880	103.2%	572,887	102.3%	59,084	101.8%	64,138	100.3%	57,556	101.3%	
処理重量	180.0	101.7%	1,698.5	101.7%	175.6	100.1%	190.7	98.3%	170.9	99.9%	
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」											
輸入動向											
単位:千トン、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
	履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉
H30年7月	45.7	40.8	112.1	45.9	42.6	107.7	91.6	83.4	109.9	49.9	50.1
H30年8月	50.8	52.0	97.6	43.1	43.7	98.5	93.9	95.8	98.0	54.1	45.9
H30年9月	40.3	55.4	72.7	38.2	39.6	96.4	78.4	95.0	82.6	51.3	48.7
H30年10月	54.4	57.8	94.1	50.5	42.4	118.9	104.9	100.3	104.6	51.9	48.1
H30年累計	470.2	465.9	100.9	417.5	392.1	106.5	887.7	858.1	103.5	53.0	47.0
※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞											
消費動向(2人以上の世帯)											
単位:グラム、円、%											
履歴	数量			金額			相場(年別・暦年)				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	もも肉		むね肉		計
H30年7月	1,294	1,209	107.0	1,194	1,184	100.8	H24年	563	189	752	
H30年8月	1,285	1,199	107.2	1,163	1,180	98.6	H25年	583	246	829	
H30年9月	1,368	1,342	101.9	1,302	1,269	102.6	H26年	626	294	920	
H30年平均	1,351	1,304	103.6	1,278	1,254	101.9	H27年	639	336	975	
※参考資料:総務省統計局HP											
H28年	621	255	876	H28年	621	255	876				
H29年	626	315	941	H29年	626	315	941				
在庫状況											
単位:千トン、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
H30年6月	29.3	26.9	108.8	136.8	124.1	110.2	166.0	151.0	109.9		
H30年7月	28.5	25.6	111.3	139.5	122.1	114.2	168.0	147.7	113.7		
H30年8月	28.9	27.0	107.0	140.1	130.8	107.0	169.0	157.9	107.0		
H30年9月	27.8	29.5	94.1	135.0	131.9	102.3	162.8	161.5	100.8		
※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構											
相場(月別)											
単位:円、%											
品名	もも肉			むね肉			正肉合計				
	履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
H30年8月	539	563	95.7	263	323	81.4	802	886	90.5		
H30年9月	550	560	98.2	265	324	81.8	815	884	92.2		
H30年10月	570	583	97.8	270	322	83.9	840	905	92.8		
H30年11月	588	605	97.2	274	319	85.9	862	924	93.3		
H30年12月	(630)	644	97.8	(275)	318	86.5	(905)	962	94.1		
H31年1月	(625)	673	92.9	(275)	312	88.1	(900)	985	91.4		
H30年平均	593	624	95.0	282	315	89.5	875	939	93.2		
※()は見通し ※1-11月平均											